



市報

よこて

No.34

2007年3月1日号

3-1

目次 Contents

行政情報

- 横手の雪まつり 2
- スタンプラリー結果発表ほか

地域の問題

- ニュース東西南北 6

くらしの情報

9

えがいの交差点

10

情報information

- お知らせ 12
- いどばたブラザ

ぶらり横手

- 石坂洋次郎文学記念館(横手) 16





ぼんでん



金沢ぼんでん

2月18日には、金澤八幡宮ぼんでん奉納が行われました。市内に数あるぼんでん行事の中でも、金澤八幡太鼓、仙南菖蒲太鼓の音色がはやし立てる中、鳥居下の急な坂で繰り広げられる先陣争いが特徴的な金沢のぼんでん。今年は美郷町金沢地区からの参加も含め、一般、小若合わせて15本のぼんでんが勇壮に奉納されました。



雪まつり

まつりが終わるともうすぐ春...



とちゅう

横手の冬の風物詩「かまくら」をはじめ、伝統的に伝わる小正月行事が市内各地域で開催されました。数年ぶりともいわれる暖冬少雪の今年。「雪まつりまでには降り積もるだろう...」という期待とは裏腹に、またまた降雪のないまま、2月14日のウェルカムかまくらを迎えました。

翌15日のかまくら本番は天候が一転、横手の冬らしい様相を見せ、市内各地域から雪をかき集めて制作されたかまくらは、うっすらと雪化粧をまとい、全国から訪れた多くの観光客を魅了しました。また、2月16日にはぼんでんコンクールが、17日にはぼんでん奉納が行われ、春を思わせる空模様の下、熱気に満ちあふれた若衆たちが思い思いにぼんでんを奉納しました。



ぼんでんコンクール特選
栄友和会

交 流

雪まつりで深まる交流
友好都市がまくら、留学生がまくらも登場

冬を代表する行事として多くの観光客が全国から訪れる横手の雪まつりは、市のさまざまな取り組みに活用され、国内外の交流にも一役買っています。

友好都市から市民訪問団

雪まつり期間中、横手市と友好都市提携を結ぶ2市の市民訪問団の皆さんが訪れました。これは、相互の歴史、伝統に触れ、市民交流を図ることを目的に毎年行われているもので、今年は、神奈川県厚木市から16人、茨城県那珂市から30人が参加し、かまくらやぼんでんを体験しました。

明海大留学生が冬のホットな暮らしを体験

また、明海大学（千葉県浦安市）に通う留学生8人が横手市を訪れ、市内の家庭にホームステイしながらスキー体験や酒蔵見学など、雪国ならではの生活を体験しました。雪まつりでは、ホストファミリーの皆さんとともに、本物のかまくらを体験し、「入ってたんせー」などと呼びかけながら観光客を出迎えていました。



留学生の皆さんが中に入り、観光客を出迎えた留学生がまくら



かまぐらの様子を厚木市に生放送



那珂市名物「ほしいも」食べてたんせー（那珂市がまくら）

観 光

金の桶当選者決定！
横手の公共温泉めぐり
スタンプラリー結果発表

市内の公共温泉を巡り、専用の台紙にスタンプを押して応募する「横手の公共温泉スタンプラリー」の抽選が行われ、特賞の中からさらに抽選で1名様に当たる、世界でも珍しい「金の桶」は、高橋輝年さん（清水町）が獲得されました。各賞当選者は次のとおりです（敬称略）

◆特賞1年間横手の公共温泉フリーパス

＋金の桶 高橋輝年（清水町）

◆特賞1年間横手の公共温泉フリーパス

佐々木百合子（秋田市）、石川右（十文字町）、奥山善夫（十文字町）、福田清子（上内町）、佐々木直美（大雄）、高橋正志（婦気大堤）、栗沢良子（羽黒町）、助川有弘（十文字町）、石橋丈助（赤川）

◆1等【横手の地酒2本セット】

永沢正毅（根岸町）、佐々木竜佑（大雄）、中村清一（雄物川町）、戸田喜久雄（黒川）、佐藤久雄（大雄）、小田原弘（平鹿町）、佐藤陽子（羽後町）、岡本充（湯沢市）、山崎龍孝（大仙市）、須純也（南町）

◆2等【大沢ブドウジュース2本セット】

原田勝子（羽後町）、松山環（秋田市）、原田節男（羽後町）、杉山誠子（平鹿町）、阿部サト子（湯沢市）、相原伸一（三本柳）、井上和徳（湯沢市）、小南あかり（大仙市）、佐藤イチ子（十文字町）、稲垣勝義（東成瀬村）、寺田芳雄（婦気大堤）、米澤二三夫（十文字町）、鈴木ナツエ（大雄）、加藤清一（岩手県）、大橋ムツ子（十文字町）※3等およびダブルチャンスの当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



◆横手弁川柳から10作品を選定

スタンプラリー応募用台紙に書いてくださった横手弁川柳の中から選考された作品をご紹介します。なお、これらの作品は3等とダブルチャンスの賞品である「横手弁手ぬぐい」にプリントされます。えのよめこえねとおもえばよごでのゆ」「孫だちど入る温泉こでらえね」「湯煙りにジサのバツパのえびす顔」「ダイエットやるべと湯こで寝て食べて」「せつべくつて横手の湯こでやせねべが」「よごでの湯湯上がり美人めんけごこ」「い湯つこメタボリックにも効くべかな？」

国 保

70歳未満の方の入院

医療費の支払いが所得に応じた自己負担限度額までになります

平成19年4月から、70歳未満の方が入院する際に「限度額適用認定証」を提示することで、医療費の支払い額が「自己負担限度額」までとなります。現在の制度では、医療機関の窓口で医療費の3割を負担（3歳未満は2割負担）し、自己負担限度額を超えた場合に、高額療養費の払い戻しを受ける仕組みとなっていますが、4月からは、所得区分に

■自己負担限度額表

所得区分	3回目までの限度額		4回目以降の限度額
上位所得者	150,000円＋（医療費－500,000円）	1％	83,400円
一 般	80,100円＋（医療費－267,000円）	1％	44,400円
住民税非課税世帯	35,400円		24,600円

※4回目以降限度額は、過去12か月間に、同一世帯で高額療養費の支給が4回以上あった場合の4回目以降の限度額。
4回目以降の限度額の適用は、同一医療機関に4か月以上入院した場合など、医療機関が確認できる場合に限られます。
住民税非課税世帯の認定証は、入院食事の軽減もあり「限度額適用・標準負担額減額認定証」となります。

- 交付要件 国民健康保険税の滞納がない世帯（ただし、特別の事情がある場合は除きます）
- 申請方法 各地域局市民生活課国保担当窓口で国民健康保険証と印鑑を持参の上、申請してください
- 受付開始 平成19年4月2日（月）から
- 有効期限 平成19年7月31日まで。平成19年8月1日からは、新たに申請して限度額適用認定証の交付を受ける必要があります（前年の所得により限度額の所得区分を判定するため。有効期限は1年）。継続して入院される方は忘れずに手続きをしてください
- 問 合 せ 市福祉環境部国保年金課（大雄庁舎内） ☎35-2186または各地域局市民生活課国保担当

ふるさとの冬の風景を十七音にしたためて
第九回「雪をつたう」市民俳句大会

中原道夫先生選

特選

【幼小部門】

「ふぶいたら雪のパーティはじまるよ」 泉結依子（増田小2年）

「雪下し雪のかわらの発注所」 東海林功（大沢小5年）

「新雪を歩く私は音楽家」 佐藤しおり（増田小6年）

【中高部門】

「初雪は二人の間に降り積もる」 日沼友香理（城南高2年）

「雪下し背中で語る父の汗」 西村美咲（清陵中1年）

「ねえ入れて君の心のかまくらに」 桐原雅典（横手西中3年）

【一般部門】

「雪篋の焼印もすり減りにけり」 武内沢仙（増田町）

「雪下し終へたる夫の酔ひふかし」 大山佳子（静町）

「雪の市手あぶりの輪の人かわる」 小西万里子（雄物川町）

秀逸

【幼小部門】

「てるいしほ（金沢保育園）、柴田真喜（植田小5年）、安藤葉奈（旭小4年）、藤原瞳子（増田小6年）、渡辺夏美（南小5年）

【中高部門】 斎藤真人（清陵中2年）、澁谷しほり（清陵中2年）、新山純人（清陵中3年）、門間幸平（横手南中3年）、河津佑輔（増田高2年）

【一般部門】 大石愛子（大町）、遠藤孝太郎（増田町）、池田美保子（三枚橋一丁目）、後藤昇（増田町）、明沢栄子（大水戸町）

市内外から3、495句の作品が寄せられた「雪をつたう」市民俳句大会の選考結果をお知らせします。（敬称略）

黒田杏子先生選

特選

【幼小部門】

「初雪は冬空からのお手紙だ」 渡部光一（横手南小6年）

「雪だるまげんかん前でわらってる」 かきざきあやか（醍醐小2年）

「ゆきふらずさんねんだあざんねんだ」 鈴木譲（大森小6年）

【中高部門】

「雪だるまもう作れない十六歳」 佐藤真生（横手高1年）

「かまくらに優しくともす家族の灯」 佐藤礼奈（横手高1年）

「流雪溝流れていかない過去がある」 高橋卓大（横手高1年）

【一般部門】

「雪篋の焼印もすり減りにけり」 武内沢仙（増田町）

「地にかまくらに天に満月凍てつけり」 高橋重行（平鹿町）

「雪掻の中学生に訪はれけり」 石川恵美子（十文字町）

秀逸

【幼小部門】

「佐藤桃花（旭小6年）、藤谷駿（旭小6年）、高橋朱里（保呂羽小5年）、相馬稜（朝倉小5年）、中川原結香（金沢小4年）

【中高部門】 鈴木友梨（横手高1年）、須川里美（城南高1年）、齊藤玲奈（城南高1年）、久米綾子（横手高1年）、佐藤優亘（平鹿中2年）

【一般部門】 黒沢サワ（杉沢）、山本喜一郎（山内）、清水睦子（平城町）、杉山悦子（大仙市）、大坂螢火（朝倉町）

自慢の料理に舌鼓

■自国料理ふれあい交流会(大森)

海外から嫁いだ女性たちが、母国の家庭料理を披露し合い親交を深める「自国料理ふれあい交流会」が2月17日、大森地域川西公民館で行われ、33人が参加しました。

今年で5回目の開催となる交流会には、中国出身の女性5人が料理指導者として参加。開会3時間前から地元の皆さんと協力して調理を行い、交流会場には餃子やチャーハン、麻婆豆腐など全14品が並べられました。参加者は本場の味に舌鼓を打ちながら、互いに料理の作り方やコツを教え合って交流を深め、楽しい時間を過ごしていました。



料理を囲みながら親交を深めた参加者

無病息災を祈って水をかぶる

■梨木水かぶり(十文字)

2月18日、梨木地区に250年以上前から伝わる伝統行事、梨木水かぶりが行われ、21人の男衆が参加して無病息災を祈願しました。

午前8時半ごろ、男衆は下帯とわらじ姿で続々と梨木愛宕神社に集合。お祓いを受け、地区の端までの約500mを練り歩きました。神社までの帰路には、沿道の家々の玄関先に水をいれた桶やバケツなどが用意されていて、威勢よく水をかぶった男衆は、振る舞い酒で体を温めると、気合を入れ直して次々と水を浴びていました。



祈りを込めて威勢よく水をかぶる男衆

寒さを吹き飛ばせ！

■2地区で雪中運動会(山内)

2月18日、三又地区の雪中運動会が旧三又小学校グラウンドで、また、相野々・下平野沢地区の雪中運動会が山内体育館前でそれぞれ開催されました。

雪中運動会は、子どもからお年寄りまで、地域の親睦を図ると同時に、運動不足解消になりがちな冬場を乗り切ろうと開催されている両地区の恒例行事で、毎回雪上ならではの趣向を凝らした種目が参加者に大人気となっています。この日も、晴れ空の下で元気いっぱいな歓声が会場に響き渡り、冬の寒さを吹き飛ばす白熱した1日となりました。



人気コーナーの雪中尻相撲(相野々・下平野沢会場)

田の神様に豊作を祈願

■雪中田植え(大雄)

2月11日、阿気兜台神社にて雪中田植えが行われました。この伝統儀式は豊作を祈願して毎年行っているもので、今年は下田三千男さん(西丁)が笠とみの姿でワラと豆殻を束ねたものを雪の中に植え、「今年の暖冬が作物の生育に影響しませんように」と、五穀豊穡や家内安全を祈願しました。

また、併せて行われたどんど焼きでは、うず高く積まれた正月のしめ飾りなどが燃やされて、今年の健康と幸せが祈願されました。



豊作の祈りを込めて、一つ一つ雪の中に植えていきます



好みの味を求めて多くの来場者が訪れました

横手の温かい味を全国に

■四大鍋汁発表&試食会(横手)

平鹿中央商工会が「美味し国横手平鹿プロジェクト06」と題して開発を進めている商品の発表&試食会が2月11日、12日の2日間、秋田ふるさと村を会場に行われました。

この取り組みは、地元に残る鍋(汁)をレトルト食品として商品化し全国に発信しようとするもので、完成を目前に控えたものこ汁、とん汁、酒粕汁、豆乳汁が来場者にふるまわれました。賞品は、今後さらに改良を加えた後、順次発売される予定となっており、試食に先立って行われたトークショーでは、開発の苦労話なども紹介されました。

豪快な妙技で五穀豊穡を願う

■三所神社ぼんでんまつり(増田)

増田(三所神社)ぼんでんまつりが2月18日に行われ、6本のぼんでんが五穀豊穡、商売繁盛などを願って奉納されました。このうち「ぼんでんコンクール」が開かれた商工会館前には、ぼんでんを担いだ男衆が威勢よく登場。ぼんでん唄などに合わせて、平均25㌢のぼんでんを肩や腰などに乗せる妙技を披露しました。また、増田小学校児童もみずから製作したぼんでん6本でまつりに参加。色別に分かれて披露した思いおもしろい演技、演出に、見物客から盛んな拍手が贈られていました。



たくさんを見物客でにぎわったぼんでんコンクール



あきたF・F推進員により披露された人形劇「絆をもういちど」

DVへの理解を深める

■ドメスティック・バイオレンス防止学習会(平鹿)

配偶者や恋人など、親密な関係にある(あった)人から振るわれる暴力(DV)に対する理解を深め、日ごろの活動に生かしてもらおうと、市内の人権擁護委員や民生児童委員を対象としたDV防止学習会が2月22日、平鹿生涯学習センターで開かれました。この日は、DVを題材にした人形劇や秋田大学医学部助教授の米山奈奈子氏による講演が行われたほか、県から地域の被害の現状と被害者支援の状況が報告され、参加した約250人の関係者は熱心にメモを取るなど、DVに対する知識を深めた一日となりました。

元気いっぱいに雪遊び

■雪んこのつどい(雄物川)

2月11日、冬の遊びを通じて雪に親しんでもらおうと、中央公園でアクティブキッズクラブ「雪んこのつどい」が行われ、小学生28人が参加しました。

好天に恵まれたこの日、子供たちは雄物川地区子ども会育成連絡協議会委員の指導でかんじきを履くと、歓声を上げながら公園内を走りまわり、その後、4班に分かれてのそりレース、雪上ドッジボール、宝さがしなどに挑戦。中でも雪上ドッジボールではひととき大きな声を上げ、汗だくになりながら冬の一日を楽しんでいました。



汗だくになりながら楽しんだ雪上ドッジボール

軽自動車の廃車・名義変更の届出は3月中に

税金

市では、軽自動車税の納税通知書を毎年5月初旬に送付していますが、例年、納税通知書を受け取った方から「知人へ譲ったのに、また自分に納付書が届いた」「自分で処分したけど、今年も納付書が届いた」といった問合せがあります。

軽自動車税は、4月1日現在に軽自動車を所有している人に課税されます。市民税課や軽自動車協会等に名義変更や廃車届を提出しないと、前の所有者に納税通知書が送付されてしまいますので、名義変更届や廃車届は、必ず3月中に済ませてください。

また、農作業用トラクター、コンバイン、乗用田植機等の小型特殊自動車も軽自動車の登録をしてナンバーを取得する必要がありますので、忘れずに申告をお願いします。

【問合せ先】

・125cc以下の原動機付自転車 ・ミニカー ・小型特殊自動車	本庁財務部市民税課諸税担当(☎32-2510)または各地域局市民生活課税務担当
・125ccを超える二輪車 ・軽自動車 ・雪上車	横手地区自家用自動車協会(☎32-1371)

新ごみ袋とごみ収集日程表を配布します

環境

新しい指定ごみ袋が4月1日から販売されますが、それに合わせて市では、3月中に見本袋（可燃ごみ袋の大）を1世帯あたり5枚、全戸に配布します。

現在使用しているごみ袋が4月の切り替え時までになくなった場合等には、配布になった見本袋を使用してください。

なお、現在使用されているごみ袋は4月を過ぎても使えますが、使用期限が9月末日までとなっておりますので、ご注意ください。

また、3月半ば頃にはごみ収集日程表の配布を予定しています。日程表の内容は、市内各地で行った説明会の際に皆さんからいただいた要望等を踏まえ、多少の修正を加えており、説明会の内容と若干異なる部分もありますので、ご了承ください。

4月以降も分別収集にご協力くださるようお願いします。

詳しくは、本庁福祉環境部環境課環境保全担当(☎35-2184)または各地域局市民生活課環境担当までお問い合わせください。



ひとり親家庭の医療費助成制度について

国保

ひとり親家庭の児童

現在、乳幼児（義務教育就学前の児童）を対象とした福祉医療費助成を受けている、ひとり親家庭の児童の中で、4月から小学校に入学する児童がいる場合、4月以降も助成制度の対象となります。

下表のとおり所得制限基準額がありますが、該当される方は、3月中に各地域局市民生活課国保年金担当で申請手続きを行ってください。

ひとり親家庭で児童を監護、養育している方

児童を監護、または養育しているひとり親の方は、下表のとおり所得制限基準額がありますが、医療機関を受診した際の自己負担額について、各地域局市民生活課国保年金担当に領収書、印鑑、振込口座を持参し、手続きしていただくと払戻しを受けることが出来ます。

扶養親族等の数(人)	父又は母の所得額(円)	扶養義務者所得額(円)
0	1,940,000	5,148,000
1	2,320,000	5,397,000
2	2,700,000	5,610,000
3	3,080,000	5,823,000

詳しくは、本庁福祉環境部国保年金課(☎35-2186)または各地域局市民生活課国保年金担当までお問い合わせください。

育児手当の認定申請手続きはお済みですか

子育て

市の人口増加を願い、同居している3人目以降の子どもさんに、満3歳まで月額5,000円が支給される育児手当制度をご存知ですか？

この制度は、乳児養育支援金を受けている方は対象となりません。

乳児養育支援金を受けていない方で、満3歳までの3人目以降の子どもさんの保護者の方は、忘れずに各地域局福祉保健課で育児手当の認定申請手続きをしてください。

●育児手当の認定申請が必要な方は

- 子どもが満1歳になり、乳児養育支援金の受給が終了した方
- 所得制限で乳児養育支援金が支給されない方（※いずれも、同居している3人目以降の満3歳までの子どもが対象）

対象になるかどうかわからない場合や詳細については、本庁福祉事務所子育て支援課(☎26-2113)または各地域局福祉保健課福祉担当までお問い合わせください。



今回の映画についての感想を語るスタッフ、キャストたち

県内ロケ作品が大盛況

■第16回あきた十文字映画祭(十文字)

2月10日から12日にかけて、十文字文化センターを会場に、あきた十文字映画祭が開催されました。16回目となる今回は国内外の12作品を上映。なかでも、自分たちで映画を撮ることを目的に昨年7月に設立された十文字映画塾の作品『浴衣と三味線と花火』が11日に上映されると、映画祭始まって以来という400人以上もの観客が詰めかけました。

上映後の舞台あいさつでは、出演者らが「地域の人たちと力を結集してつくった映画。地域の元気な力を感じた」と語り、観客から暖かな拍手が贈られていました。

勇ましく梵天を奉納

■長太郎稲荷神社梵天祭(大雄)

2月4日、中島集落の長太郎稲荷神社で梵天祭が行われ、集落から6本の梵天が奉納されました。

ホラ貝の音と梵天唄にのせた「ジョヤサー」の掛け声とともに集まりだした男衆は、まず始めに五穀豊穡や商売繁盛を祈願し、祭専用で作られた押し合い堂に梵天を奉納。お堂の板の間を梵天の脚で突いて奉納が無事終了すると、今度は他の集落の恵比寿俵が一斉に奉納されます。お堂の入口は激しいもみ合いとなり、境内は雪をもとくすような人々の熱気であふれていました。



五穀豊穡や商売繁盛を祈って激しいもみ合いが繰り広げられました



舞を習う子どもたちの表情は真剣そのもの

園児たちが能を体験

■謡曲と仕舞を楽しむ会(十文字)

2月13日、睦合保育所を十文字喜多会（武蔵信悦会長）の皆さん8人が訪れ、園児たちに能を披露しました。これは、感受性の豊かな時期に気軽に能を楽しんでもらいたいと同会が企画したもので、今年で2回目となります。

始めに、会員の謡曲に合わせて仕舞を舞い、園児たちに謡の意味や舞について説明。次に、『敦盛』から「人間五十年」の部分の舞を園児たちも体験しました。会員の方は「記憶の片隅にでも、能が楽しい体験として残ってくれたら」と話し、園児たちのかわいい舞に目を細めていました。

3月のイベント案内

木戸五郎兵衛神社初午祭り(雄物川)

旧暦2月の初午の日に行われることから「初午祭り」と呼ばれる、木戸五郎兵衛神社の例祭が3月25日に行われます。

若衆たちは、朝早くから集落や職場単位で作った恵比寿俵を担いで町内を練り歩き、昼頃、商売繁盛と五穀豊穡を祈願して恵比寿俵を神社に奉納します。

◆日時 3月25日(日) 7:00頃～13:00頃

◆場所 木戸五郎兵衛神社

◆問合せ 雄物川地域局産業振興課☎0182-22-2187



50 金婚さん いっしょに 共に歩んで 50年

(大雄)
 きっかわ
吉川 吉雄さん(75歳)
セツさん(70歳)



吉川さんご夫婦は知人の紹介でお見合いし、昭和31年11月にご結婚。この日を境に二人で農業に勤しむ日々が始まりました。農業においても、手作業が多かった時代。なかでも田植え作業が一番大変だったそうです。「この地区は田の反別の大きい農家が多く、20件ほどが共同で田植えを行っていました。一番農地が多かったときは、一人一日一反歩のペースで一月もかかったことがあります」と当時の苦勞を語る吉雄さん。

農作業の機械化や減反政策が進むにつれ、稲作の合間に西瓜づくりにも挑戦し、40年近くなる現在も続けています。

一方、セツさんは大好きな花を年間を通して育て、吉川家の玄関や庭先では常に数種類の花々が来客を迎えてくれます。

そんなお二人の共通の趣味は旅行や温泉に出かけること。北海道から沖縄まで、全国と一緒に旅しているそうです。

「夫婦仲良く50年やってきました。若い頃に苦勞した分を今、楽しせてもらっています」と、繰り返し語る吉川さんご夫婦。苦勞を分かち合ってきたお二人だからこそ、強く感じる幸せなのでしょう。長年の勞をねぎらうかのように互いを勞わる、そんな姿が印象的でした。

それ行け！ミニ広報マン



◆今月の記者
 保呂羽小学校6年
 (左から)
 遠藤 健太
 守屋 結
 佐々木勇樹



保呂羽小学校(大森)
獅子舞の伝統を受け継ぎたい

保呂羽小学校では、四年前から毎年、総合の時間「たかのこタイム」で、八沢木獅子舞の学習会を行っています。この学習会は全校で行い、まず始めに八沢木獅子舞保存会の皆さんの獅子舞を見せてもらいます。そして、笛やたいこ、かね、ひよっとこ、獅子のグループに分かれて踊りやおはやしを教わります。

八沢木獅子舞は、約三百年前から保呂羽に伝わる伝統の踊りで、昭和四十年には、県の無形民俗文化財に指定されました。舞には、豊作や人々の健康への願いが込められています。

この伝統を受けついでいくために、僕たちも保存会に入会して「子ども獅子舞」を結成し、一緒に練習しています。たくさん練習し、今年度は保呂羽小学校での学習発表会や地域の福祉施設へのボランティア訪問、ふるさと村の大きな舞台での発表など、いろいろな所でたくさんの人に獅子舞を見てもらいました。

今年の三月で保呂羽小学校は閉校になります。しかし、これからこの伝統を地域のみんなで大切にして、たくさんの方に八沢木獅子舞を見てもらいたいと思います。



輝 かきやき



齊藤 圭さん(十文字)
 (18歳・A型・天秤座)

☆自分の性格は？
 大らかな性格です。

☆モットーは？
 常に明るく、職場でも良い雰囲気大事にしようと思がけています。

☆好きな女性のタイプは？
 自分をリードしてくれる明るい女性です。

☆これからの目標は？
 もっと上を目指し、料理の腕前をあげて、いずれは自分の店を持つことです。

穏やかに話をする圭さんからは、親しみやすさと素直な人柄が伝わってきます。ぜひ素敵な親方を目指して欲しい若人です。

十文字地区にある「和食亭 福みつ」で、板前として修行中の圭さん。朝早くからの仕込み作業や接客などの仕事に打ち込む姿に、「真面目で頑張り屋」と親方の評価も高いようです。



えがおの交差点

語学サークル(機手)

ハングル研究会 ハングル研究会

韓流ブームの影響か、近頃よく耳にする韓国語。ハングル研究会「ソリ」の教室では、参考書や問題集を片手に皆さんの話す流ちょうな韓国語が飛び交っています。

このサークルは市が主催していた韓国語講座の受講者が集まり、平成13年に結成。現在は10人の会員が集い、毎週火曜日に女性セクターなどで韓国語の習得に励んでいます。

韓国語を習い始めたきっかけは、韓国旅行や韓国との交流を通してなど人それぞれですが、仕事や家事の合間をぬっての語学勉強のため、時間を大切に、そして真摯に覚えようとしている皆さんの姿が印象的です。

言葉を学んでこそ見えてくる異国の文化や生活。ブームにとらわれず、着実とした交流の道を進むこのサークルにあな

◆問合せ 廣瀬 健一さん
 ☎32-8691



INFORMATION

情報

● お知らせのページ ●

お知らせ



家を新築・全面改築される方に
秋田スギ内装材を差し上げます

県では、秋田スギの家づくり
応援事業として、県内に住宅を
新築、全面改築される方に秋田
スギ内装材を差し上げます。

■提供数量 全県で50戸

■申込期限 3月19日(月)

■申込・問合先 あきた県産材
利用センター ☎018-83
7-8095

合併処理浄化槽の設置費用
を補助します

新築や改築などで合併処理浄

催し



浄化槽セミナー

浄化槽は、水質汚濁の原因と
なるトイレや台所などの生活排
水処理し、きれいな水を取り
戻すために重要です。個人で浄
化槽を設置済み、または設置を
予定している方を対象に浄化槽
セミナーを開催します。

■日時 3月17日(土)午後1時

化槽の設置をする方を対象に、
その費用の一部を補助します。
希望される方は、早めにお申し
込みください。なお、地域によ
っては補助の対象にならない場
合がありますので、詳しくはお
問い合わせください。

■問合せ 各地域局地域維持課、
または上下水道部下水道整備
課(山内庁舎内) ☎53-2
931

■詳細 <http://www.rinnai.co.jp/>

■問合せ リンナイ ☎0120
-885-587、または市
産業経済部商工労働課(増田
庁舎内) ☎45-5516

農地の貸借などの仲介・あ
つせんをします

財団法人横手市みどり公社で
は、農地の貸借などの仲介・あ
つせんを行う事業を実施してい
ます。対象地域は雄物川地域を
除く横手市全域です。契約書の
作成や関係機関への書類提出、
貸借料などの清算も行いますの
で、お気軽にご相談ください。

■問合せ (財)横手市みどり公
社 ☎35-6090

リンナイ製湯沸器による一
酸化炭素中毒事故について

リンナイ製の小型湯沸器で、
1991年から1997年にか
けて製造された商品による一酸
化炭素中毒事故が発生していま
す。お手持ちの湯沸器に該当し
ているものがないか、早急にご
確認ください。

■問合せ 各地域局福祉保健課、
または市福祉環境部高齢ふれ
あい課(大森庁舎内) ☎26-
2114

横手市国民保護計画(素案)
へのご意見を募集します

外国からの武力攻撃や大規模
テロなどが発生した場合に、市
民の皆さんを安全に避難・保護
するために「横手市国民保護計
画」の作成を進めています。
この度、計画の素案が出来上
がりしましたので、公表し、皆さ
んからのご意見を募集します。

募集



いきいきとした生活を送る高
齢者の方をご推薦ください

高齢者の生活の参考となるよ
うな、エイジレス・ライフ(年
齢にとらわれず自らの責任と能
力において送る、自由でいきい
きとした生活)を実践している
方や、地域で社会活動を積極的
に行っている高齢者のグループ
活動事例の募集をします。対象
は概ね65歳以上の方です。

■対象 市内在住の方、または
市内に通勤・通学している方
■問合せ 市福祉環境部市民課
(大雄庁舎内) ☎35-2176
(日水)

ふれあいの川美化事業の公
募をします

県では、皆さんがふれあい、
やすらげる河川空間を確保する
ため、地域住民の方とパートナ
ーシップを組んで除草活動を行
っています。そこで、平成19年
度に除草活動を行ってくださる
自治会や市民団体を公募します。

■委託期間 5月上旬～8月下旬
■対象河川 横手川、頭無川、
横手大戸川、上溝川、県が
指定する区間(詳しくはお問
い合わせください)

■応募締切 3月30日(金)

■応募・問合先 県平鹿地域振
興局建設部河川砂防課 ☎45
-6161

よこて発酵文化研究所主催
発酵講演会のお知らせ

発酵分野の研究における第一
人者で、テレビ番組などにも多
数出演されている小泉武夫先生
の講演会です。

■日時 3月23日(金)午前10時

■場所 本庁南庁舎講堂

■講師 小泉武夫先生(東京農
業大学教授)

■問合せ よこて発酵文化研究
所事務局(横手地域局産業振
興課) ☎32-2718

地上デジタル放送デモン
ストレーションのお知らせ

昨年10月から、市内の大部分
で地上デジタル放送が視聴でき
るようになりました。この放送
への理解を深めていただくため
、NHK秋田放送局のご協力によ
りデモンストレーションを行
います。各会場では、地上デジ
タル放送の受信放映パネルを展
示します。

金沢公民館 ☎37-2111

■期間 2月27日(火)～3月6
日(火)

女性センター ☎33-3995

■期間 3月8日(木)～14日(水)

休養センターさくら荘 ☎26
-2301

■期間 3月16日(金)～22日(木)



笑顔がいっぱい

かんじきウォーキング 参加者募集

かんじきを履いて、早春のこの森を歩いてみませんか。当日は豚汁と甘酒を用意しています。おにぎり・お椀・はし・飲み物をご持参ください。なお、かんじきは貸し出しをします。

- 日時 3月11日(日)午前8時30分(横手公園スキー場に集合)
- コース 横手スキー場といこの村の往復約2.5km
- 定員 120人
- 参加費 1人につき200円
- 申込期限 3月7日(水)

横手市雇用創出協議会主催 就職面接会

市内の企業や事業所が参加する就職面接会です。求人に関する説明や面接を直接受けることができます。参加を希望される方は、お申し込みください。

- 申込先 市総務企画部企画課(本庁南庁舎内) ☎35-2164
- 対象 協議会が主催したセミナー
- 日時 3月13日(火)午後1時30分～4時
- 場所 横手セントラルホテル芙蓉の間
- 入場料 無料
- 申込先 市雇用創出協議会事務局(市産業経済部商工労働課内) ☎45-3990
- 日時 3月10日(土)午前10時～正午、午後の部は午後1時～4時
- 場所 横手市民会館

第一回市民ステージ発表祭

【訂正とお詫び】市報よこて2月15日号の掲載内容に誤りがありました。訂正してお詫びします。

■特集6ページ、横手市子育て支援センター「なかよし」の電話番号が誤りでした。正しくは「32-6933」です。

■12、15ページの「笑顔がいつぱい」の吉田保育所(平鹿)「らいおん組」は「ひまわり組」の誤りでした。

横手警察署からのお知らせ

Yokote Police Station Information

—平成18年中の少年補導状況から—

非行少年、不良行為少年が減少

犯罪少年(14歳以上)は前年より3人減の36人。触法少年(14歳未満)は前年と同じ5人、不良行為少年は前年より306人の減で887人でした。内訳は以下のとおりです。

学識別	罪種別	粗暴犯(7人)
●高校生…27人	●万引き…13人	●傷害…3人
●中学生…6人	●自転車盗…7人	●恐喝…3人
●有職…3人	●その他…2人	●暴行…1人
●無職…3人	その他(12人)	
●小学生…2人	●占有離脱物横領…8人	
	●その他…4人	

●非行少年 高校生が最も多く、なかでも、「他人の自転車を持ち去る行為(自転車盗+占有離脱物横領)」は15件で、ほとんどが高校生です。
※占有離脱物横領とは、他人が盗んで放置したものを届けずに横領することです。

●不良行為少年 深夜はいかいで補導される少年が圧倒的に多くなっています。

学識別	行為別
●有職少年…380人	●深夜はいかい…628人
●高校生…220人	●喫煙…203人
●無職少年…165人	

補導される少年は減少傾向ですが、非行や不良行為が潜在化している可能性もあります。家庭内で喫煙や飲酒を容認したり、パソコン、携帯電話等で連絡を取り合っているため、行動が把握しにくいことにも一因があります。子どもが何に興味を持ち、どんな行動をしているのか、関心を持つことが大事です。

※少年相談は横手警察署少年サポートセンター(☎32-2250)

公共下水道事業認可区域の変更案を縦覧します

市民の皆さんが下水道を利用し、快適な生活環境を実現できるように、横手・増田・平鹿・十文字・大雄地域において下水道を整備できる認可区域を拡大することになりました。この度、この認可区域の変更案をお見せします。

■期間 3月5日(月)～19日(月)

■場所 市上下水道部下水道整備課(山内庁舎2階)、同下水道維持課(横手庁舎4階)、増田・平鹿・雄物川・十文字・大雄地域局の各地域維持課

■問合せ 市上下水道部下水道整備課 ☎53-2931



市民主催の催し等をお知らせするコーナーです

ナンの館 月例市民将棋大会

日時 3月4日(日)午前10時から
場所 軽食喫茶「ナンの館」
会費 1,000円(昼食付き)
問合せ 佐藤さん ☎090-3365-2720

歌の好きな人集まれ! 思いっきり歌声喫茶

「贈る言葉」や「千の風になって」など数曲を予定。
日時 3月8日(木)午後7時開演
場所 レストラン煉瓦屋(寿町)
参加費 1,000円(軽食付き)
問合せ レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

第3回 道の駅さんない 絵手紙コンテスト

ふるさと秋田への思いを絵手紙で表現してみませんか。道の駅さんないでは、皆さんの素敵な作品を募集します

- テーマ 「ふるさと あきたの風物」…秋田県への愛着や誇りを表したもの
- 募集作品 秋田県をイメージした絵と文字が入った絵手紙
- 応募締切 平成19年5月10日(木) 当日消印有効
- 入賞 ふるさと大賞 1点 賞状・副賞(商品券10,000円)
優秀賞 2点 賞状・副賞(商品券5,000円)
入選 2点 賞状・副賞(商品券3,000円)
特別賞 2点 賞状・副賞(商品券2,000円)
- 審査発表 審査は絵手紙コンテスト選考委員会が行い、入賞者には5月20日(日)までに賞状と副賞をお送りします
- 展示 期間:平成19年5月20日(日)～7月20日(金) 道の駅さんない休憩棟「施設内特別展示スペース」にて展示
- 応募先 〒019-1108 横手市山内土淵字小日倉沢34 道の駅さんない・ウッディランド「絵手紙コンテスト」係 ☎56-1600 ☎53-3434



認知症サポーター養成講座

認知症の方とその家族の話し相手や、相談相手になって支援するサポーターを養成する講座です。
日時 3月10日(土)午後1時30分～3時30分
場所 秋田県南部市民活動サポートセンター
申込期限 3月7日(水) (定員50人)
問合せ NPO法人県南介護サポート かがやきネット ☎32-2388

「民芸 わら細工」作品展

平鹿町在住の森田照雄さんによるわら細工作品をご覧ください。入場料は無料です。
期間 3月1日(木)～29日(木)
場所 南部シルバーエリア ミニミニギャラリー
問合せ 南部シルバーエリア ☎26-3880

コスチュームデッサン会

人物画(着衣女性)を描く勉強会です。詳しくはお問い合わせください。見学は無料です。
日時 3月18日(日) 毎月1回、開催を予定
場所 かまくら館5階
問合せ 横手デッサン会 掛札さん ☎32-5545

南部シルバーエリア 料理教室

遠藤光智子さんを講師に迎えての料理教室です。
日時 3月16日(金)午前10時から
場所 南部シルバーエリア 調理室(定員20人)
メニュー ぶどうの3色ゼリー、きのこご飯、牛乳鍋
申込期限 3月11日(日) (参加費800円)
問合せ 南部シルバーエリア ☎26-3880

自然を愛する皆さんの集い

絵本作家「ひろ いちか」さんの講演やサクスの演奏をお楽しみください。
日時 3月18日(日)午後1時開演
場所 レストラン煉瓦屋(寿町) (参加費800円)
問合せ レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

押花で小さな額を作ってみませんか

身近な花々で押花の無料体験ができます。
日時 3月25日(日)午後1時から
場所 女性センター
定員 10人
問合せ 柴田さん ☎090-4630-3326



ぶら

横手 VOL.17

石坂洋次郎文学記念館【横手】



生原稿や写真パネルなどを豊富に展示している「石坂洋次郎文学記念館」



再現された「若い人」執筆当時の書斎



映画「山と川のある町」のロケ写真



町屋と土蔵をモチーフにした記念館

「青い山脈」の作家として知られた石坂洋次郎が、大正15年から13年にわたり教員生活を送った横手は、「山と川のある町」など、多くの作品の舞台として、その文学をはぐくみ開花させ、人間洋次郎にも大きな影響を与えました。

館内には、当時の文壇で絶賛された、はじめての長編「若い人」を執筆した、昭和8年当時の伊豆の書斎が遺品とともに再現され、生原稿や遺墨、写真パネルなど様々な資料が、日本を代表する作家の業績と文壇に果たした功績を今に伝えます。

郷土が育んだ作家石坂洋次郎の人生を、貴重な資料の数々から感じてみてはいかがでしょうか。

石坂洋次郎文学記念館

- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 毎週月曜日(休日のときはその翌日)
祝日の翌日・年末年始
- 所在地 横手市幸町2-10
- 問合せ 石坂洋次郎文学記念館
☎33-5052

